

玉林小学校教室棟建替え

18年度にも実施設計か

笠沙町

玉林小学校の教室棟の建て替えを計画している

桑畑昭三会長



川辺次世会(会長・桑畑昭三)は、自主制作による定期発行新聞「ネクスト川辺」の制作、第1号となる新聞を12月27日に発刊した。

この新聞は、「明日の川辺を、われわれの手で守り育てよう」という志のもとに発足した同会が、地元建設業が公共事業のみならず、

川辺郡笠沙町は、17年度に建物規模や事業期間などの構想を取りまとめ、事業が順調に進めば18年度に実施設計、19年度にも本工事に着手したい考えだ。しかし、市町村合併等の兼ね合いもあり、整備計画は変更される可能性もあるとしている。

開閉水道事業計画

松下線等配水管布設替え

揖宿郡開閉町は、16年度水道事業特別会計12月補正予算に配水施設費に293万円を計上、町道松下線などの配水管布設替えを行う。

今回の追加計上は、経営体育成基盤整備・開閉地区の事業に伴う上水道配水管布設替えの補修工

が著しいため、建て替えを視野に入れた整備を計画。15年度に耐力調査を実施した結果、16年度に危険建物と認定されたため、改築として事業を進める。なお、耐力度調査を行うもの。

町道松下線では、県営ほ場整備開閉地区2号線上水道の、西元公民館付近から延長210m(H I Wφ50)の配水管布設替え。町道錦池大迫線は、広域営農団地農道整備上水道の送水管布設替え。岡元平ポンプ室前までの延長約50m(H I Wφ150)の送水管布設替えを行う。また、県道長崎鼻公園開閉線松原田線の橋梁整備

加世田市出身叙勲褒章祝賀会

上東氏らの受章祝う



記念品を手にする受章者＝加世田市の市民会

務めた後に、消防関係において地域防災に尽力している大迫勲氏が旭日小

叙勲褒章を授与した上東信義氏(株)東建設社長)をはじめとする加世田市出身の4人に対する受章祝賀会がこのほど、加世田市の市民会館で開かれた。

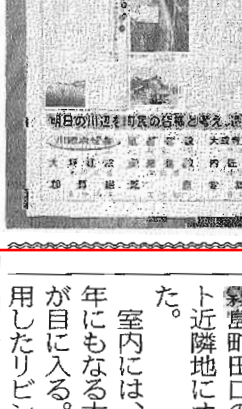
昨年、建設業に長年従事し地域の社会基盤整備に多大な功績を残した上東氏が黄綬褒章、加世田市議会議員などの要職を

発刊に当たり、桑畑会長は「今回の発刊に至るまで、定例会を通じてメンバー全員で掲載体裁などについて幾多のディスカッションを重ねてきた。その結果、とうとう第1号を発刊することができた。この新聞を通じて、わ

れわれが地域と一体となった建設業を目指していきたいという気持ち、一人でも多くの町民に理解していただき、共に川辺の活性化に向けた活動へとつながらねばと考えている」と抱負を語った。

この展示場は、木が持つ本来の質感や温もりなどを「体験入居」することでログハウスの良さをユーザーに理解してもらうことなどを目的に、同社が(有)ビバークラフトの協力を得て昨年の夏に霧島町田口の大和リゾート近隣地にオープンさせた。

室内には、樹齢2000年にもなる大木の大黒柱が目に入る。無垢材を使用したリビングやまきの



『廃出者責任法』により発注者側も対象になります解体から最終処分まで責任をもって処理！

自社解体

自社最終処分場(安定型)所有

株式会社 寿産業

099-296-5617 担当 鶴田

木質感や温もり好評

松園工務店



好評を得ている体験型展示場

このあと、祝宴も開かれ、出席者らが受章者を囲んで談笑していた。

も設置するなどセキュリティの面にも十分な配慮がなされている。オープン当初から、口コミやインターネットなどによる体験入居の申し込みが相次ぎ、現在では週末や祝日をリゾート気分でも堪能しようとする家族連れなどの申し込みが増えている。松園信務専務は「構造見学会や完成見学会だけでは、なかなかログハウスの良さが分かりにくい。実際に住んでもらうことで、ログハウスの良さを少しでも理解してもらえたら幸い」と語る。

問い合わせは、(有)松園工務店(099-933-57-2127) 松園信務氏まで。

この人

瀬戸口 和宏さん



「仕事の中で、常いものが、できれば心に心掛けていくことは、思っています。住民の視点に立ち、こった出来事は、悲しい天災・事件が多いこのごろ、平穩に過ごせることの大切さを実感しています。お気に入りのスボットは。」

(知覧町)